

女性で初めて世界最高峰のエベレスト(8848m)に登頂した登山家・田部井淳子さんの命日(20日)、生前に通った日高市高麗本郷の日和田山登山口の駐車場で、田部井さんの活躍をたどる記念モニュメントの完成式が開かれた。田部井さんは生前、川越市に住み、2016年に77歳で死去した。モニュメントは地元有志らが寄付金約95万円を集めて設けた。高さ1㍍50㌢でエベレストを模しており、田部井さんの顔写真と共に「日和田山からエベレストまで」と刻まれている。

田部井さんは夫の政伸さん(78)と一緒に半世紀ほど前から毎月のように同じ山に通い、山中にある岩壁

読売 2019.11.21

でロッククライミングの技術を磨いた。12年にがん性腹膜炎と診断されてからもりハビリや気分転換のため、頻繁に訪れていたという。完成式に出席した政伸さんは「私たちにとって岩登りのベースになった場所で、とてもうれしい。若い人もモニュメントを見て、田部井淳子という人がいたことを知つてほしい」と話した。

## 田部井淳子さん 功績刻む記念碑

### 日高 日和田山で完成式



田部井淳子さんの記念モニュメント完成を喜ぶ夫の政伸さん(20日、日高市高麗本郷で)

朝日 2019.11.26

田部井淳子さんをしのぶ記念碑と、夫の政伸さん(20日、日高市高麗本郷



## 思い出の日和田山 有志募金で実現 日高



田部井淳子さん

日和田山はロッククライミングの訓練場所として知られ、田部井さんも若いころからここで技術を磨いた。がんを患い闘病中だった晩年も、リハビリのため自宅のある川越市から政伸さんと一緒に何度も訪れ、その日の体調によってルートを選びながら登つたという。

昨年6月、政伸さんを招いた講演会や日和田山ハイキングの参加者から「この山に記念碑があつたらいいよね」との声が上がったのをきっかけに、地元の有志たちが実現に向けて動き出した。設置費用のための募

金の呼びかけに県内外の40人もの人が賛同し、設置場所も土地所有者の快諾を得て決まった。

「日和田山からエベレストまで」という大きな文字が目を引く記念碑は、高さ1㍍50㌢、幅1㍍00㌢、奥行き80センチのモルタル製で、田部井さんの写真や日和田山との関わりを記したステンレス製のプレートがめ込まれている。碑全体の形はエベレストをイメージしているという。

毎月20になると、日和田山には田部井さんを慕う人たちが各地から集まる。自然と始まった「思い出登山」。毎回登っている政伸さんは「妻が好きだったこの山に記念碑ができる、とてもうれしい。若い人たちには田部井淳子という人間がいたことを記憶にとどめてもらいたい、同時に自然にも親しつでもらえれば」と話した。

(日高敏景)

## 田部井さんしのぶ記念碑

金の呼びかけに県内外の40人もの人が賛同し、設置場所も土地所有者の快諾を得て決まった。

「日和田山からエベレストまで」という大きな文字が目を引く記念碑は、高さ1㍍50㌢、幅1㍍00㌢、奥行き80センチのモルタル製で、田部井さんの写真や日和田山との関わりを記したステンレス製のプレートがめ込まれている。碑全体の形はエベレストをイメージしているという。

世界最高峰のエベレストに女性として初めて登頂し、3年前にがんで亡くなつた登山家の田部井淳子さん(享年77)をしのぶ記念碑が、日高市の日和田山(3055m)登山口駐車場に設置された。月命日の今月20日には、夫の政伸さん(78)や関係者が集まって完成を祝つた。

登山口駐車場に設置された。月命日の今月20日には、夫の政伸さん(78)や関係者が集まって完成を祝つた。